

笑顔が、緑が、自然がキラキラ



# 方城町



夏まつり  
踊りの輪が  
明かりに揺らめいて…

—夏まつり町民盆踊り大会—

## 広報

Houjyou 町の人口●男 3,728人 女 4,120人 計7,848人 世帯数3,013戸

9 2003  
SEPTEMBER  
第230号

# ほろしよ

## 転入転出 手続きの 簡素化

住民基本台帳カードの交付を受けている場合、転出届を郵送で行うことにより、引越の手続きで窓口に行くのは転入時1回だけになります。

今までは、引越の場合まず住んでいる市区町村に転出届を行い、転出証明書の交付を受けた上で、引越先の市区町村に転入届を行う必要がありました。

住民基本台帳カードの交付を受けている場合は、確実な本人確認ができるため、一定の事項を記入した転出届を郵送で行い、住民基本台帳カードを引越先の市区町村の窓口で提示して転入届を行うことができます。(国民健康保険等に加入している方は、事前に喪失等の手続きが必要です。)

## 問い合わせ

詳しくは、方城町役場住民課戸籍係までお尋ねください。  
☎0947・22・0520

平成15年8月25日より

# 住民基本台帳 ネットワークシステムが さらに便利になりました



住民基本台帳カードが  
交付されます。

## 住民票の写しの 広域交付

全国どこの市町村でも自分の住民票の写し(戸籍の表示を省略したもの)が取れるようになります。

今までは、住民票の写しの交付は、住んでいる市町村でしか受け取ることができませんでした。

住基ネットを活用して全国どこの市区町村でも、住民基本台帳カード、運転免許証など本人であることを証明できるものを提示することにより、本人や世帯の住民票の写し(戸籍の表示を省略したもの)の交付が受けられます。

## 住民基本台帳カード の交付

住民票の写しの広域交付、転入転出手続きの簡素化などに利用できます。カードの交付には、下記のものが必要です。

- ①運転免許証、パスポートなど本人確認ができるもの
- ②写真(4.5×3.5㌘)無帽、無背景、正面で6ヶ月以内に撮影
- ③印鑑
- ④手数料500円(カード代)  
※ただし、カード発行まで2~3週間程かかります。

10月1日から

## 戸籍の届出に

## 本人確認が

## 必要となります

**目的** 偽造の届書により戸籍への不実の記載がされるのを未然に防止するための緊急かつ暫定的な措置として、全国各市町村の窓口において、届書を持参された方に対する本人確認を実施するものです。

**対象とする届出の種類** 戸籍の届出をすることによって一定の身分関係が形成される婚姻届、離婚届、養子縁組届及び養子離縁届を対象とします。

**本人確認の対象者** 当役場に届書を持参された方(使者も含みます。)を対象とします。

**本人確認の方法** 原則として、運転免許証、パスポート等官公署が発行した顔写真が貼付された証明書の提示によって本人確認を行います。

なお、運転免許証等を所持されていない方は、その他の身分証明書を提示してください。

**届出人に対する通知** 原則として、本人確認ができなかった届出人に対しては、当町長から文書で当該届書を受理した旨を通知します。

**実施時期** 平成15年10月1日

**問い合わせ** 詳しくは、方城町役場住民課戸籍係までお尋ねください。  
☎0947・22・0520

工事費	①建設工事費	391百万円
	②設計・管理委託料	27百万円
	③備品購入費	91百万円
	④付帯工事費	28百万円
	⑤補償費	42百万円
	⑥用地買収費	17百万円
総工費	596百万円	
財源内訳	①地方債	479百万円
	②町費	117百万円



▲綴帳の説明をしている白石町長(大きさがわかるでしょうか?)

# 方城町地域交流センター落成式

## 文化が育ち カルチャーが咲く

8月9日、臨時経済対策事業により平成14年4月より整備を進めていた「方城町地域交流センター」の落成式が行われました。

白石町長は式の中で、「私たちの生活には、良い意味での余暇が大切であり、文化とは良き豊かな時間だと思えます。皆さんの心と心をつなぐ交流の場として、暮らしの中に喜びと潤いを与える芸術文化の創造、発展の地として地域交流センターは役割を發揮してもらいたい」と話されました。

出席者の目を引いたのは舞台上の綴帳の図柄で、方城町の花として雄弁に咲き誇る樹齢500年を越える藤をテーマに、これからの町の未来をあらわす光・緑を表現したものです。

設備としては、可動式椅子で366収容の多目的ホール、最新の音響設備と照明施設を有し、講演会やコンサート、各種イベントが開催できる、人と文化が共有する豊かな空間スペースを備えています。

## 中国雑技団の公演



▲一緒に会場を湧かせました!協力でシエイシエイ



▲日本のコマと違うコマに悪戦苦闘

落成式の後、オープン記念として中国雑技団の公演があり、昼・夜の部に分かれて開催されました。

まず、落成式にちなんだ中国獅子舞が舞われ日本の獅子より、ずっと大きな二匹の獅子が観客席に飛び出すハプニングや「ニーハオ!!方城町のみなさん」の文字が書かれた旗を口にくわえて挨拶するところから雑技団の公演は始まりました。

一輪車の上でバランスをとりながら、足先から碗を蹴り上げて頭の上に載せる芸や、京劇をまねて華やかに猿の化粧をして舞う芸、人間の身体の柔らかさを究極に使った芸などの演目が次々に披露されました。

観客は目の前のステージ上でくり広げられる秘技にハラハラ、ドキドキ、技が決まるたびにため息と拍手が交差し、とくに子ども達の目はくぎ付けになっていました。

これから、交流センターで方城町の芸術・文化を高めるイベント等が数多く開催され、バンド練習や地域の皆さんが交流を深める場として広く利用してもらえる地域交流センターになることを期待します。



▲巨大な獅子にびっくり



▲あざやかに決めたフィナーレ

